

虐待防止に向けた取り組み

カルガモの家では、年3回虐待防止に向けた『事例検討会』を行っています。普段何気なく実践しているケアの意味を考え、個人のスキルアップやリスク管理意識の向上に役立てています。今回は6月、8月に行った検討内容をご報告します。

子供が泣いている理由

- ・寂しい・お腹が苦しい・暑い
- ・体の向きが嫌・もっと遊びたい
- ・抱っこをして欲しい・手足が冷たい
- ・寝たいのに眠れない・お散歩に行きたい

対応

- ・おもちゃ等で遊ぶ・吸引・ガス抜き
- ・浣腸・汗をかいたら清拭・空調調節
- ・クーリング実施・ポジショニングの工夫
- ・話を聞き何がしたいのか汲み取る
- ・身体をさする



表出が難しい子供の気持ちを どの様に汲み取っていますか？

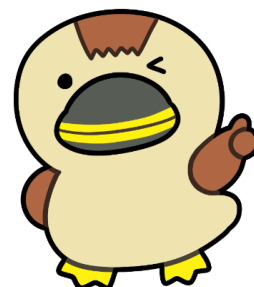
- ・目、眉毛、口、指、様々な個所の動き
- ・心拍数・よだれの量や呼吸数
- ・顔色・緊張の仕方

汲み取る為にどのような工夫をしている？

- ・多くの選択肢を与えられるようにし、何か反応が返ってくるまで待つ
- ・マイナスな感情表出でも否定せず共感する
- ・動かしやすいようにマッサージをする
- ・耳元で話しかける
- ・普段との違いを良く見る
- ・児と関わって分かった情報を共有する

多職種のスタッフが集まり話し合うことで
自分一人では気づけなかった意見や視点を貰える
きっかけとなっています。

又、日々の業務では振り返る時間が少ない
ですが、検討会を通じて、日々のケアの大切さ
に気づきケアの質を改善する良い場となっています。



虐待防止委員会